

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	東御市産ワイン普及・振興事業
事業主体 (連絡先)	東御ワインクラブ (電話 0268-71-5515 (携帯電話 080-5048-5015))
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	4,417,269円 (うち支援金: 3,234,000円)

事業内容

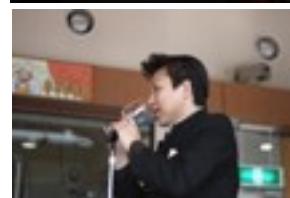
東御ワインフェスタ2013

市内3ワイナリー、千曲川ワインバレー区域のワイナリー、市内地ビール、地元飲食店が一堂に会して光と音楽で演出した空間でワインイベントを開催し、この地域のワインを市内外へPRしていく。



東御ワインスクール2014

一般市民(近隣市町村民)を対象とした講座を開催し、東御市を中心に千曲川流域のワイン品質の特徴、ワインの楽しみ方などのワインに関する知識を地元の食材を使った料理と併せて学ぶ。



※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

ここ数年、信州ワインバレー構想が発表され、たくさんのお客様がワインに興味を持っていただき、ワインフェスタには去年のおよそ2倍の集客ができました。

目標していた人数には届かなかったものの、去年よりもたくさんの方に、ご参加いただき、課題はありましたが、全体的には皆さんとても楽しんでいただけました。

ワインスクールでは、去年よりは集客は減りましたが、去年よりも価格を上げて、料理をつける事により、去年とは違う層の人達が参加でき、より集客の幅を広げるような効果ができました。

【目標・ねらい】

- 集客
- ワインへの認知拡大
- 東御ワインのブランド力向上

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

今後の取り組み

平成26年度はフェスタの規模を1日から2日に拡大し、長野県内はもちろんの事、県外からの参加者の増加も狙う。また、近隣の宿泊施設との連携を測る。

また、今までのワインスクールでは東御のワインに興味あるけど知識がないので参加したいと言う方が大半でしたが、今回は東御のワインを知らない人をターゲットにする。

その為には、ワインを主体としたイベントではなく東御市、上田市で開催しているお祭りへ出店。お祭りに参加している一般のお客さんを集めてワインセミナーを行い、より東御のワイン、更に千曲川ワインの集客や認知拡大へつなげる。

また、平成27年度以降は、自立運営ができるよう、今後のイベント方法や、ビジネスモデルについて検討する。